

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」



▲通告一覧
(市HP)



▲一般質問会議録
速報版(市HP)

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しています。

今定例会の一般質問は、新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮し、文書による質問に回答する「文書質問」の方式で実施しました。各議員の質問に対する市長等の答弁(回答)を会議録の速報版として、福生市ホームページに掲載しています。

会議録(確定版)は、1月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置し、福生市ホームページにも掲載します。ぜひご覧ください。

コロナ禍における予算編成の基本的な考え方と重点施策について

正和会
杉山 行男 議員



質問 新型コロナウイルスの収束が見えない状況下における令和3年度予算編成の基本的な考え方と重点施策について伺う。

市長 感染症の拡大に伴い、市税等の大幅な減収が懸念され、令和2年度決算では約2億4千万円、令和3年度予算では約8億円の減収と試算している。予算編成に当たっては、例年以上に各部・課のマネジメント

を強化し、中長期的な視点でコスト意識を持って事業を精査する必要がある。市民サービスの質を落とさず、真に必要な財政需要への対応を図り、持続可能な財政運営を進めてまいりたい。主な重点施策として、継続的な衛生用品の確保や一部の窓口手続きの郵送化等の感染症対策の実施、職員用パソコンのモバイル対応や電子決裁システムの導入等、デジタル

化・効率化に向けた準備を行う。市民を守り未来につなげるまちづくりとなるよう施策を進めてまいりたい。

教育長 教育委員会の重点施策は、GIGAスクール構想の実現、幼保小中連携事業等で、コロナ禍においても「学びを止めない」「一人一人を大切に」「学びに向かう力の育成」等を基本理念に、さまざまな課題に全力で取り組んでまいりたい。



▲タブレット端末を活用した授業の様子

市道に設置している道路照明灯のLED化について

自民党福生
町田 成司 議員



質問 市道照明灯のLED化の現状とLED化に係る事業費、ランニングコストの削減効果について伺う。

市長 都の設計基準や市の設置基準に基づき、平成25～26年度に市内すべての道路照明灯をLED化しており、現在は、ほぼ全てLED照明となっているが、令和2年度に都から移管された道路等は対応していない照明灯もあり、老朽度合等を勘案

し計画的に交換していく。2カ年で実施した3500灯のLED化の事業費は約3億5000万円で、ランニングコストは年間約3500万円以上の削減、5年間で約1億7500万円の削減効果があった。

公園管理について

質問 業者委託している公園の除草や清掃業務等の軽作業を町会、自治会等に依頼する考えはあるか。

市長 平成16年度から公園ボランティア制度を実施し、43の公園で約400名の個人及び12の団体の皆様に自主的・自発的に活動いただいております。整合性等の観点から、現時点では難しいと考える。今後も公園ボランティアや各種団体の皆様の活動を尊重し、市民との協働による公園管理を推進し、魅力ある公園づくりと適正な維持管理に努めてまいりたい。



▲市道に設置しているLED照明灯

「福生市農業振興計画」の改定における今後の農地保全の考え方について

正和会
山崎 貴裕 議員



質問 今年度は「福生市農業振興計画」が改定される年にあたるが、計画の改定に際し、今後の市内における農地保全の考え方について伺う。

市長 「福生市農業振興計画」は、平成23年3月に策定し、平成28年3月に一部改定をしており、策定から10年間の計画としていることから、令和3年3月に改定する。平成28年の一部改定後から現在までに、都市

農業に係る様々な法律が改正されており、特に福生市の農業に深く関係しているのが、平成29年6月に施行された「生産緑地法の一部改正」と平成30年9月に施行された「都市農地貸借円滑化法」である。中でも「都市農地貸借円滑化法」の施行により、相続税納税猶予制度の適用を受けている生産緑地の貸借や、貸借中に相続が発生した場合に、その生

産緑地を貸し付けたまま相続した方が、相続税納税猶予制度の適用を受けることが可能となり、農地の保全や農業経営規模の拡大を目指す農業者にとって、大変大きな利点となっている。今回の改定において、これらの法律の内容を盛り込み、また、今までの施策を継続していくことで、より一層、農地の保全に努めてまいりたい。



▲地場産野菜の直売会「くるみるやさい市」

公園の維持管理等個別計画の策定について

正和会
小林 貢 議員



質問 公園整備は、個別計画により中長期的な視点で行っていく必要があると考えるが今後の取り組みは。

市長 公共施設等総合管理計画に基づき、公園施設の長寿命化計画を策定予定。多数の公園が設置後20～50年を経過し、遊具の老朽化等が生じ、利用率低下が著しい公園もある。機能ごとに維持管理水準を定め、機能保全とライフサイクルコストの削減

を目指し、時代とともに変化・多様化するニーズを踏まえた計画になるよう策定準備を進めてまいりたい。

エッセンシャルワーカーへの支援と感謝をする取組について

質問 エッセンシャルワーカーの方々への支援について、考えを伺う。

市長 保育・介護現場に早急にマスクを提供するとともに、保育園、幼稚園等へ感染症対策に必要な消耗

品等の整備に係る補助を実施。また、今定例会に補正予算を上程している事業として、PCRセンターに従事する福生市医師会への保険料の補助及び、高齢者・障害者福祉施設等に勤務する職員のPCR検査費用を助成する補助金を創設予定。長期にわたり、緊張感の中、最前線で従事し、社会生活を支えてくださっていることに感謝し支援を行ってまいりたい。



▲熊牛公園